

ロータリー・レポート

青少年に夢を 大阪金剛 山田 博光

わがクラブは、六月十一日「さやま青少年フェスタ2005」を開催した。国際ロータリー百周年記念行事の一環として企画され、「オリンピック・メダリストと語ろう」を副題に、当地のさやかホールで開催された。ゲストとして招かれたのは、アテネオリンピックのシンクロナイズドスイミングの種目で、二個の銀メダルを獲得された立花美哉さんとこの部門の総監督井村雅代さん（大阪狭山市在住）である。この行事は大阪狭山市内の全小中学校とPTA組織および教育委員会の後援を受け、当クラブと協力関係にある初芝堺中学校インターアクトクラブの参加を得ることができた。行事は二部に分かれ、第一部は二つの中学校の吹奏楽部の演奏で、全員女子中学生だけの初々しく活気に満ちた演奏には賛辞が止まなかった。第二部は立花美哉さんと司会の伊藤会員とのトークショーで、シンクロを始めたきっかけ、シンクロ練習のきびしさ、コーチの井村さんとの出会いと長い選手生活、アテネオリンピックの思い出などが語られた。ついで壇上に上がった二十人の小中学生との一問一答があり、褒美として子供たちは六個の金銀銅メダルを胸にかけさせてもらった。ついで全日本のコーチ兼監督の井村さんから子供の才能の伸ばし方、子供を成長させる親のありかたについて、有益なスピーチがあり、満場の聴衆を感動させた。夢を持つことの大切さ、その夢を追い続ける厳しさと楽しさが、人々の胸に刻まれたと思う。